



北部九州自動車150万台
生産拠点推進会議

ものづくりの心、世界へ、未来へ。



自動車100万台生産拠点達成記念
Automobile history and the future exhibition

クルマの

歴史と未来展

～人とクルマと産業を創造する～

2007年1月10日水～21日日

【入場無料】 ●開館時間/9:30～17:00(入館は16:30まで)
●1月15日(月)は九州国立博物館が休館日となります。
●九州国立博物館の観覧につきましては別途入館料が必要となります。

【会場】九州国立博物館(エントランスホール/ミュージアムホール/屋外)

【主催】北部九州自動車150万台生産拠点推進会議、福岡県

【共催】(財)福岡県中小企業振興センター、福岡ものづくり産業振興会議

【後援】九州経済産業局、九州経済連合会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、福岡県自動車販売店協会、福岡県商工会議所連合会、日産自動車、日産自動車九州工場、トヨタ自動車、トヨタ自動車九州、ダイハツ工業、ダイハツ九州、九州自動車産業振興連携会議、北九州地域自動車部品ネットワーク、直轄自動車産業研究会、行橋市自動車産業振興協議会、大牟田自動車関連産業振興会、飯塚地域自動車産業研究会、苅田町自動車産業振興協議会、豊前地域自動車産業参入協議会、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、NHK福岡放送局、KBC九州朝日放送、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送、FM福岡、CROSS FM、天神FM、西日本リビング新聞社、九州旅客鉄道、西日本鉄道、九州国立博物館(予定) **【協力】**慶應義塾大学電気自動車研究室

●お問い合わせ先/福岡県商工部自動車産業振興室 TEL(ダイヤルイン)092(643)3447



クルマの歴史と未来展

Automobile history and the future exhibition

●『クルマの歴史と未来展』の趣旨・目的

北部九州は、日産自動車九州工場、トヨタ自動車九州、ダイハツ九州など国内大手自動車メーカーの最新鋭工場が集積し、2006年に100万台の自動車生産拠点となりました。

福岡県では新たに①生産台数150万台②部品の地元調達率70%③アジアの最先端拠点④次世代のクルマ開発拠点の4つの目標からなる「北部九州自動車150万台生産拠点推進構想」を策定し、

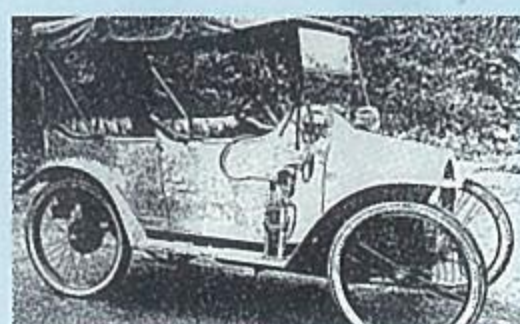
取り組みを行っています。

この歴史と未来展では、歴史的なクルマから未来のクルマ、クルマをつくるすべての部品の展示、北部九州の自動車産業の紹介や親子ものづくり教室の開催など、クルマのすべてを身近に体験できる機会を提供します。

クルマの歴史から夢あふれるクルマの未来をお楽しみください。

●人とクルマの産業展

クルマの歴史～過去から未来



アロー号

1916年に完成した現存する国産自動車では最古の車。福岡県の矢野少年(矢野特殊自動車創業者)が製作した。自動車の原点は福岡にあり!を証言するクルマ。



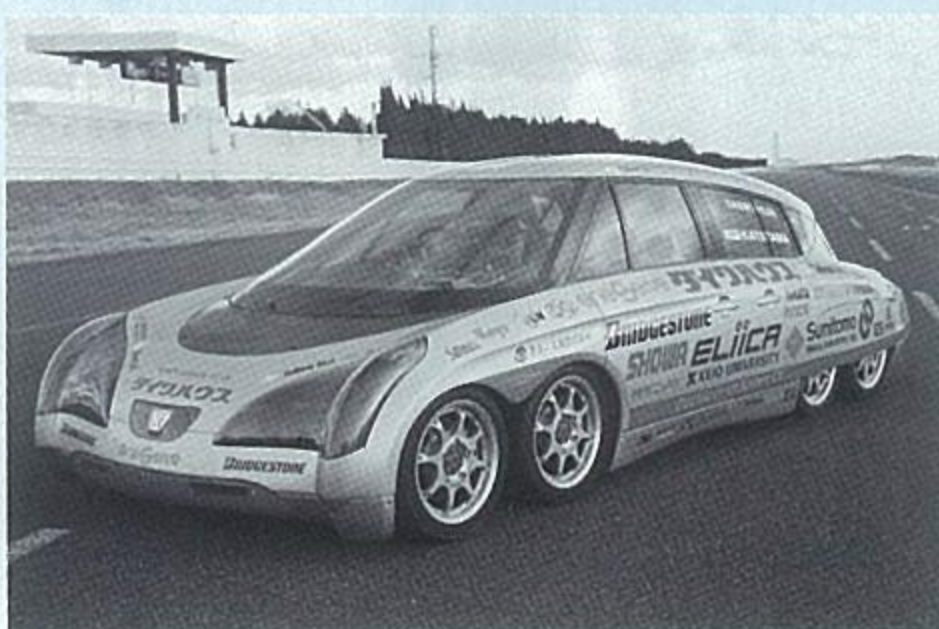
ミゼット

戦後の軽三輪ブームの火付け役となったのがダイハツ・ミゼット。昭和46年に生産を終了。



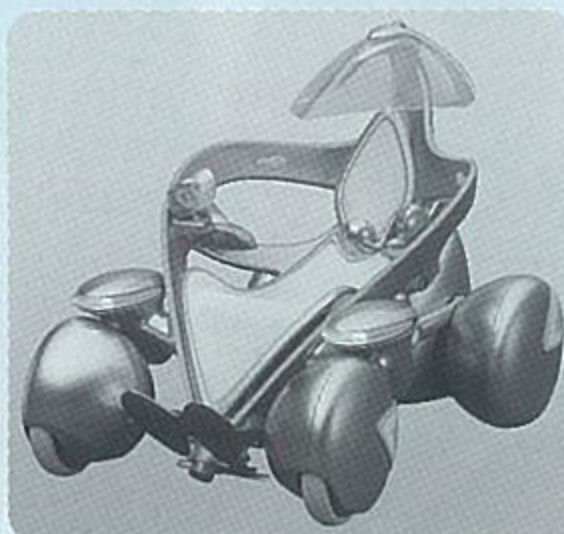
ダットサン

展示車は北部九州(日産自動車九州工場)における自動車生産第1号車。



ELIICA

8つの車輪一つ一つにモーターを搭載。超高性能なガソリン不要のリチウム電気自動車。排気ガス、騒音も出さないスーパー・エコロジー・カー。



i-unit

まるで自分の手足のように思いのままに操作できる機能や走る速度によってそのスタイルを変えられる一人乗り「未来コンセプトビークル」。



F-1

モータースポーツの最高峰F1。そこに凝縮されている技術はトップクラス。エンジン、ミッション、サスペンションといった機械的な技術だけでなく、電子制御やコンピュータ制御も現在では当然となっている。

自動車及び自動車部品展示

1台のクルマをつくるすべての部品やエンジンモデルの展示。クルマをつくるには約4,000種類、30,000個もの部品が必要と言われています。紙から鉄まで、幅広い産業を集結した裾野の広い自動車産業。その裾野の広がりや先端技術、そしてモノづくりの今を感じてください。

●北部九州生産車両展示

九州で生産されている各メーカーの代表的な新型車両を展示。

日産自動車九州工場



トヨタ自動車九州



ダイハツ九州



あの奥山清行氏のトークライブ開催!!

●情熱トークライブ
～カーデザインへの熱い思い～

要申込み
参加費 無料

1月14日(日) 13時～14時30分
奥山清行 (KEN OKUYAMA)



プロフィール
カーデザイナーとしてフェラーリやマセラッティなどの自動車、ドゥカッティなどのモーターサイクルをデザイン。同時に各種工業デザインの分野で、電車、航空機などの公共交通機関、家具、プロダクト、インテリアデザインはもとより、空間デザインや都市計画まで幅広く手掛ける。KEN OKUYAMAレーベルにて眼鏡、サングラスの開発から販売まで、山形工房より家具の製造販売も。講演、執筆活動は多岐に渡る。

●体験・学習

① バーチャルファクトリーツアー

確かな品質のクルマを短時間でお客様お届けするために自動車メーカーは様々な努力をしています。コイル搬入、プレス、車体組立、塗装、ファイナルテスト、出荷など、クルマが作られるまでの工程を映像により分かりやすく紹介します。



② 親子ものづくり教室

1/20(土) 10:00～
小学校低学年向け

1/21(日) 10:00～
高学年向け

電気工作キットを使った教室を開催。楽しみながらミニカーづくりやエレクトロニクスが学べます。「スーパーソーラーカー」や「ばこカー」を自分で作り上げる達成感や充実感、モノづくりの楽しさを実際に体験してください。

要申込み
参加費
[子供1人・大人1人]
ペアで1,000円

③ レーシング体験コーナー

ドライビングシミュレーターによるレーシング体験コーナー。迫力のレーサー体験が対戦形式で楽しめます。

『情熱トークライブ』と『親子ものづくり教室』は事前に申込みが必要です。

応募方法

ハガキ、ファックス、メールのいずれかにご住所、お名前、年齢、電話番号、イベント名を記入の上、1月9日(火)までにお申込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

送り先

〒812-8577
福岡市博多区東公園7-7
福岡県商工部自動車産業振興室
「クルマの歴史と未来展」係
FAX:092-643-3443
E-mail: jidousha@pref.fukuoka.lg.jp

アクセスマップ



展示・イベント内容については予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。